

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	02	02	0401	清掃センター改修事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策					
	施策					
目的	平成27年の焼却終了に向けて、清掃センターの改修を行う。					
対象	清掃センター					
意図	焼却施設を閉鎖し、残る粗大ごみ処理施設及びリサイクル施設を効率的に使用する。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
既存の受配電設備、可燃物貯留搬出設備の改修を行い、粗大ごみ処理の効率化を図る。 給排水設備、給湯衛生設備、空調設備の改修、整備を行い適切な施設管理を行う。						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			計画			
			実績			
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	平成27年に広域の焼却施設が完成することから、既存の焼却施設を適正に閉鎖しなければならない。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	焼却施設の閉鎖に向けて、計画的に進める。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない <input type="radio"/>	
効率性	事業費・人件費の削減余地	妥当である。
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	工事の内容からみて、適正である。
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
可燃物貯留搬出設備やコンベヤ設置により、粗大ごみ処理の効率化が図られ、受電設備の改修により、施設の安全性が高まった。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 市民生活部 課名 清掃センター 担当係長 高橋秀幸 内線 31-2114

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	02	02	0401	清掃センター改修事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		9,072	63,475		54,403
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	9,072	63,475		54,403

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 26 年度 ~ 平成 29 年度]
部重点施策における目標			
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています			
事業開始の背景・経緯			
平成 27 年の広域による焼却施設の稼働により、不要になる既存の焼却施設を閉鎖し、残る施設を有効に使用する。			
事業概要			
既存の受配電設備、可燃物貯留搬出設備の改修を行い、粗大ごみ処理の効率化を図る。 給排水設備、給湯衛生設備、空調設備の改修、整備を行い適切な施設管理を行う。			
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等			

《事業手法の詳細》

○総事業費	139,335千円
・回転式可燃ごみ貯留搬出設備設置工事	17,356千円
・可燃物コンベヤ改造及びコンベヤ設置工事	9,936千円
・非常用発電設備及び電気設備設置工事	13,705千円
・給排水・給湯・空調設備改修工事	19,224千円
・焼却施設煙突頂部封鎖工事	963千円
・可燃ごみ貯留機投入設備改造工事	1,010千円
・可燃ごみピット清掃及び洗浄業務委託	1,124千円
・分離槽汚水採取運搬業務委託	158千円
27年度事業費計	63,476千円

年 度	工 事 内 容	工 事 費
26年	浄化槽設置工事	9,072千円
27年	可燃物貯留搬出設備、高圧受電設備の一部、非常用発電設備、消火栓ポンプ設置、プラットホーム扉封鎖、ごみピット洗浄、給湯衛生設備改修外部排水管切替工事、空調設備工事	63,476千円
29年	構内配線路設備工事、配水管布設工事、衛生設備改修、点検口の開放	31,419千円
30年	既設受電設備機器設置工事、電気設備設計施工監理費、破碎施設PLC設置工事、給水タンク解体工事	35,368千円